

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和6年12月発行予定です。

「まちかど」カラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

裏面のQRコードよりアクセス可能です。

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第224号

令和6年(2024)10月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

花めぐり

柏の木

柏の木は10～15mの高さまで成長するブナ科コナラ属の落葉広葉樹です。秋になると葉を落とす落葉樹に属しますが、柏の多くは枯れ葉をつけたまま春を迎えます。また、木の皮が厚く硬いため、風の強い場所や寒冷地でもよく育つことから、防風林に使われたり建材に利用されたりする高木樹木です。この柏の木が小山小学校校門横に植えられており、学校地域コーディネーター宮本庸子さんが小山小コミュニティスクール活動報告で案内されています。



小山小学校校門横で
9月撮影

『柏の木は端午の節句の柏餅を包む葉として知られています。春に新芽が出るまで秋に紅葉した葉が落ちないという特性があり、とても縁起の良い木とされます。小山小学校や荏原第六中学校の校章の由来であり、良い伝統が途切れないでずっと続いていくようにという思いが込められています。』

令和8年度に小山小学校は開校100周年を迎えますが、子供たちの成長と共に現在5m程の柏の木の成長も楽しみです。

(小山四丁目・東 美佐栄)



夏の企画当日の様子

入浴券なら10枚綴りで5,000円です。

(荏原二丁目・伊藤 茂実)

今やお風呂のない家庭はほとんどないと思いますが、銭湯は65歳以上には「出会いの湯」といって特にふれあいの機会を提供してくれたりもしますし、美容と健康の増進を兼ねて一度行ってみてはいかがでしょうか？

品川百景の一つにも選ばれているこの連合渡御に、荏原第一管内からは荏原四丁目町会、小山四丁目町会、小山五丁目町会が参加しています。

隊列にはお囃子、手古舞、弓張連も加わり、勇壮な神輿に華やかさが添えられ、沿道を埋め尽くした見物客からの熱い視線と声援が注がれました。

来年は荏原四丁目町会が当番町会を務められるとのことですので、成功をお祈り申し上げます。

(小山五丁目・飯沼 賢治)

今年では「ワッショイ」ではなく「アリアソリヤ」の掛け声で担がれています。『ワッショイ』とはヘブライ語で『神が来た』という意味だそうです。

懐かしい温もりのある伝統行事は、山車をひいた幼子や、子ども神輿を担ぐ少年少女たちが、勇壮な祭りを率いる大人たちの姿を憧れとして育ち、引き継がれていくものと確信しました。

(小山台一丁目東・佐藤 年子)

また当日は、線香花火をどれだけ長く灯せるとかを競う「線香花火耐久アタック」も同時開催しました。

所定の時間まで花火を落とさなうったお子様には可愛いカラフルな缶バッジをプレゼントしました。

企画のフィナーレはナイアガラの花火でした。まさに滝のよう勢いよく火花が滴り落ちる様子に、参加

9月1日、今年で37回目となった歴史あるお祭り、三谷八幡神社と小山八幡神社の例大祭『小山神社祭』が執り行われました。

9月7、8日両日、戸越八幡神社の祭りが執り行われました。本年は大正13年に製作された小山台神輿の完成百周年となる祭礼です。

地区代表者、総代表、神輿委員総代会による出御式で河野義男総代会会長の挨拶があり、記念渡御の開始となりました。

小山神社祭



戸越八幡例大祭



地区委員会
夏の企画



町会活動紹介

すいか割り (小山四丁目町会)

小山四丁目町会では毎年8月に三谷八幡神社境内で町会行事のすいか割りを行っています。

今年も天候に恵まれ、大勢の子供たちが参加してくれました。普段はなかなか見ることのない5Lサイズの立派な大玉すいか割りに子供たちは何度も何度もチャレンジし



すいか割りの様子 広報部撮影

ますが、なかなか割れません！ようやく割れたすいかはその場でカット、みんなでおいしくいただきました。他にもかき氷や輪投げ、ヨーヨー釣りをやったりと地域の方の交流の場として楽しい時間を過ごすことができました。来年も開催しますので、ぜひ「夏」を感じにいらしてください。

今年度より広報部を設けました。町会や周辺の行事予定やその様子などお伝えしてまいります。皆様どうぞお楽しみに。

(小山四丁目・青少年部長 中林 正一)

「銭湯の日」
品川の銭湯に
行きませんか？



皆様は10月10日が「銭湯の日」だということをご存じですか？1010で千十(せんとお)という語呂合わせですが、銭湯は区内には22軒あり、「品川銭湯マップ」も配布されています。

私は銭湯が好きで、大きな湯船にゆったり入り、ジェットバスや電気風呂で身体がほぐれると、その日はぐっすりと眠れます。この辺は銭湯でも天然温泉が多く、泉質は通称黒湯といっ

て褐色で湯船の底が見えないくらいです。お風呂がある家庭がまだ少なかった頃から、日本人は公衆浴場という施設を利用していました。公衆浴場の歴史は古く、鎌倉時代の文献にはすでに「銭湯」という言葉を見ることができ